

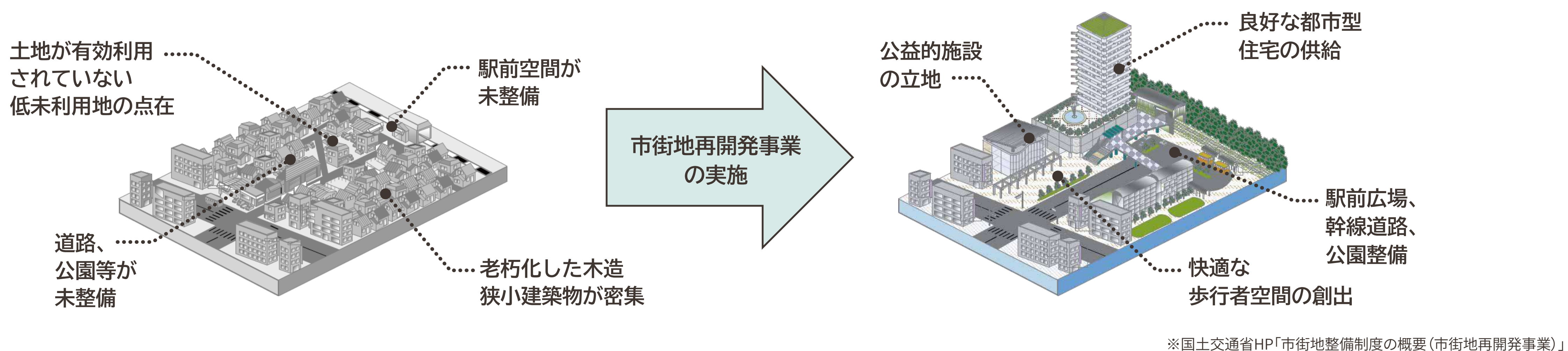
市街地再開発事業

～大山町ピッコロ・スクエア周辺地区～

施行者：大山町ピッコロ・スクエア周辺地区市街地再開発組合

市街地再開発事業の概要

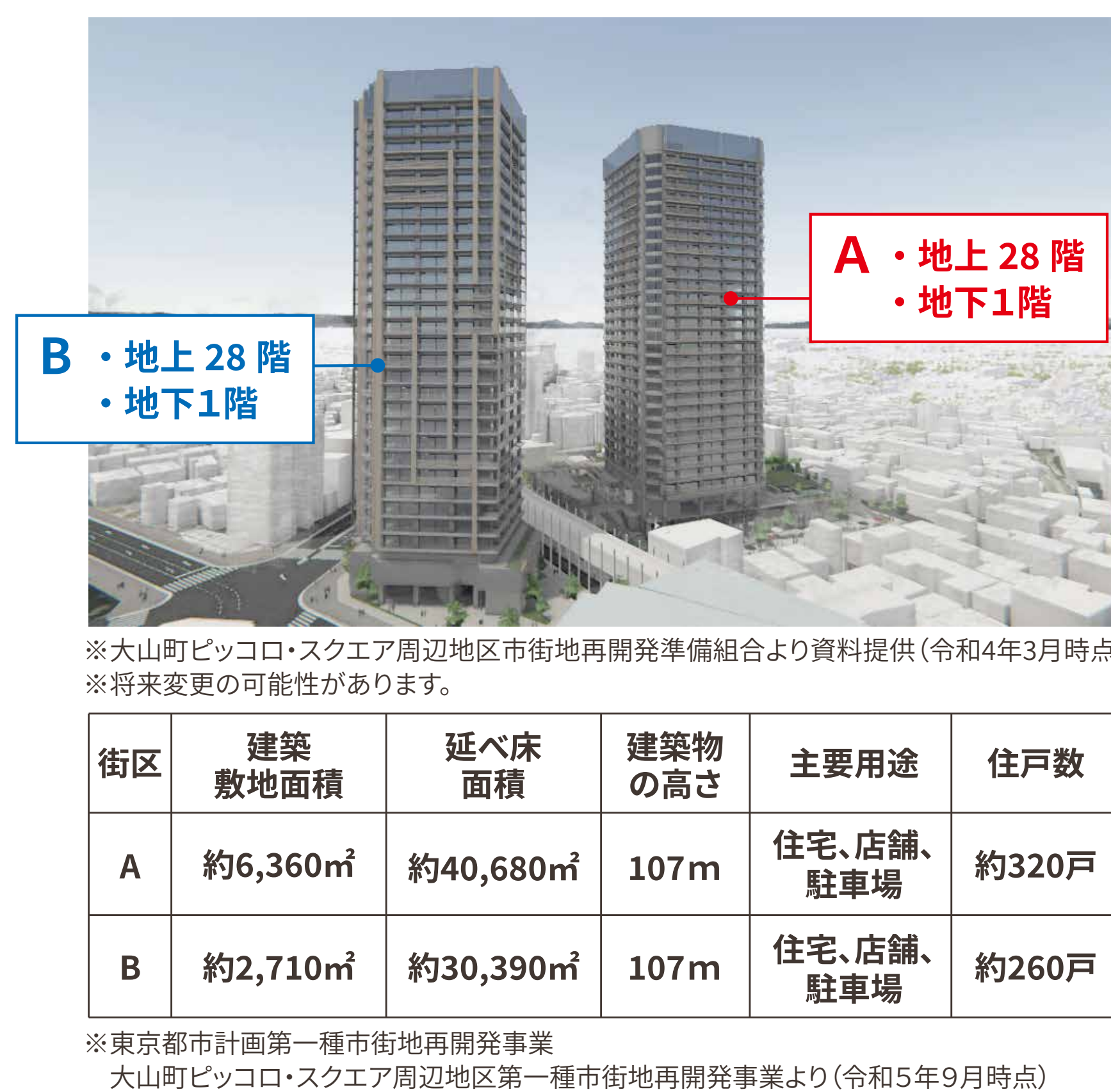
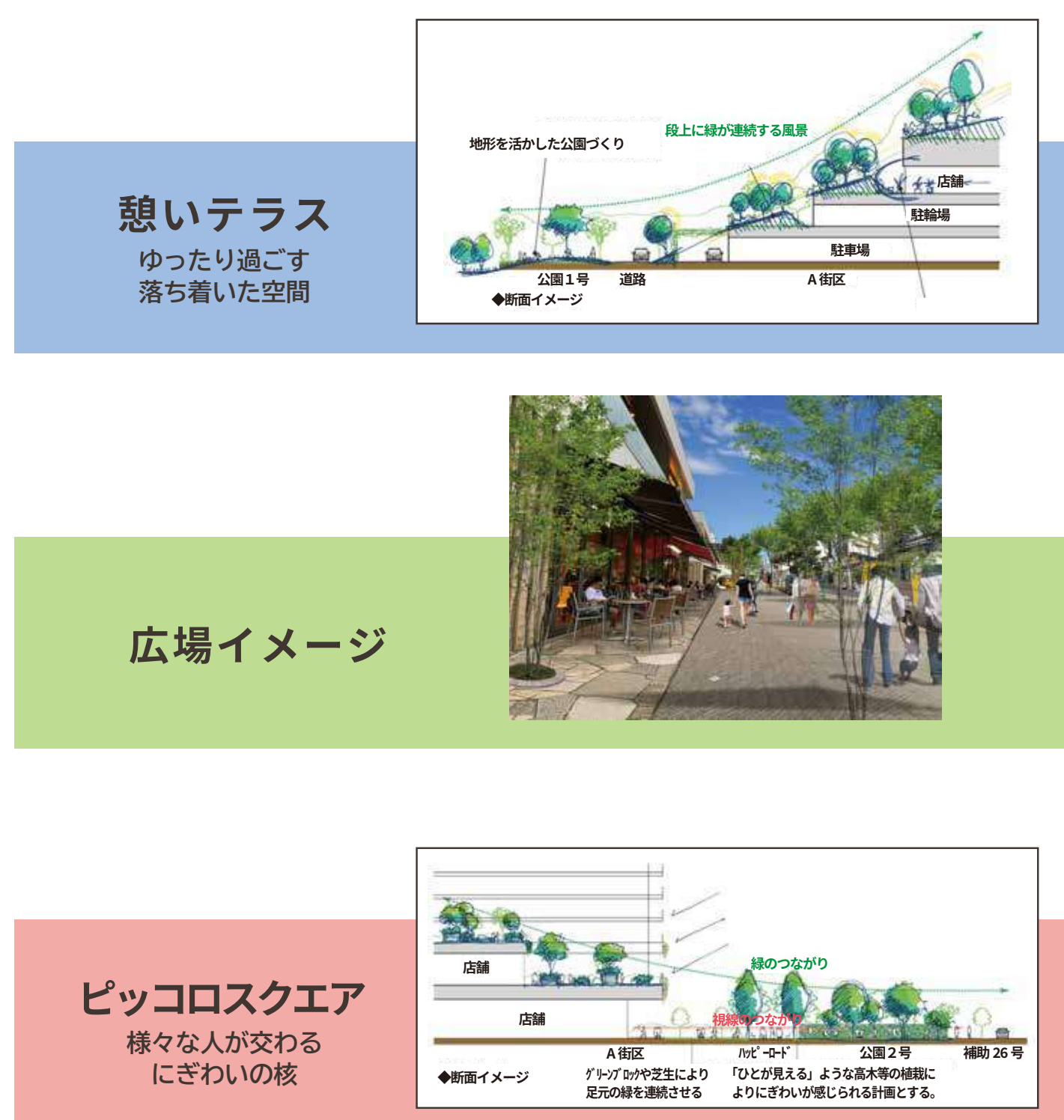
事業の目的：土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図る



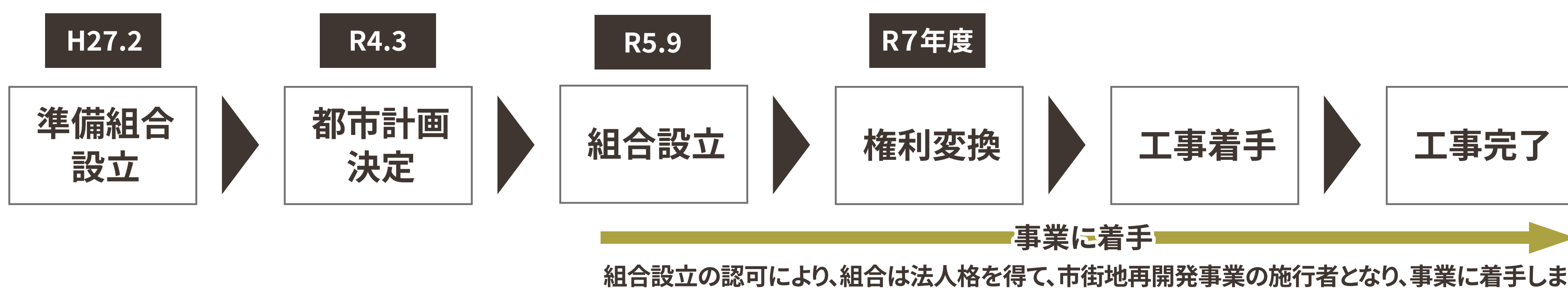
事業内容の紹介

大山町ピッコロ・スクエア周辺地区は、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ることにより、補助第26号線の西側地域の交流とにぎわいの拠点の形成や、地区の防災性の向上を目指し、令和4年3月に都市計画決定され、令和5年9月に再開発組合が設立認可されました。

計画の概要



事業スケジュール



市街地再開発事業

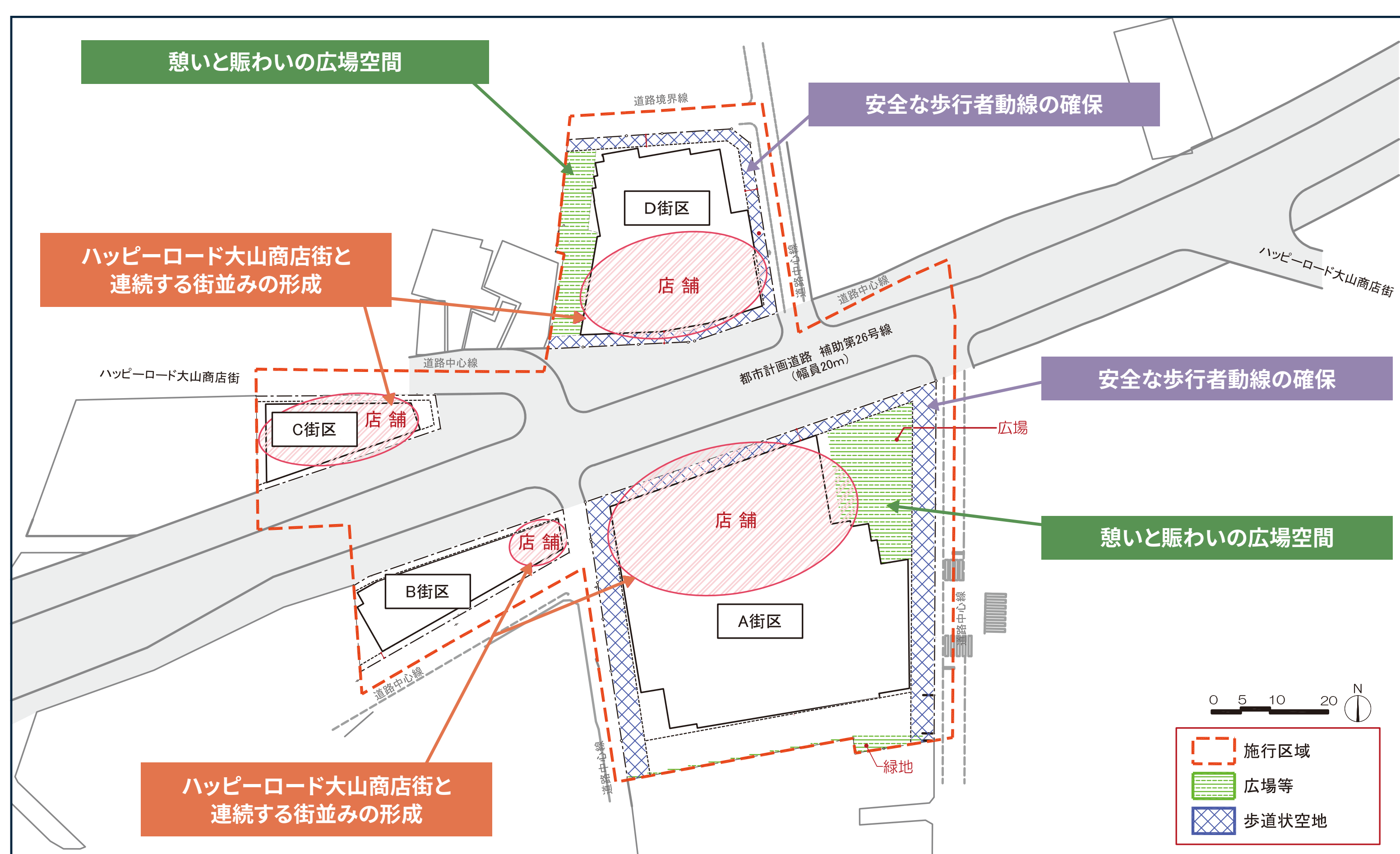
～大山町クロスポイント周辺地区①～

施行者：大山町クロスポイント周辺地区市街地再開発組合

事業内容の紹介

大山町クロスポイント周辺地区は、「安全な歩行者動線の確保」「憩いと賑わいの広場空間」「ハッピーロード大山商店街と連続する街並みの形成」をまちづくりの取り組みとし、令和3年9月15日に工事着手しました。そして、B・C街区が令和6年3月、D街区が同年11月、A街区が同年12月に工事完了しました。

大山町クロスポイント周辺地区まちづくりの取組



安全な歩行者動線の確保

- ・歩道状空地の整備を行い、安全な歩行者動線を確保します。
- ・歩道状空地には、街路樹等の緑化を行い、みどり潤う快適な歩行者空間を演出します。賑わいと潤いのある商業空間の創出をめざします。

憩いと賑わいの広場空間

- ・A街区の北東角には、大山駅からの商店街通行者を迎え入れる広場空間を設けます。商店街とA街区の窓口として、新たな滞留空間となる街のにぎわい拠点をめざします。
- ・広場には植栽やベンチ等を配置し、買い物の休憩スペースとしても利用できる潤いある憩いの場を整備します。

ハッピーロード大山商店街と連続する街並みの形成

- ・4街区全ての低層部に商業機能を導入し、「商店街の連続性」を確保します。
- ・低層部に商業機能を設けることで、補助第26号線沿道に新たなにぎわい広げていくための「拠点の形成」をめざします。

※大山町クロスポイント周辺地区市街地再開発組合より資料提供

事業スケジュール

